

# Ⅱ. エリアの概要

## 2. ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) による年間1,400万人を超える集客エリア

- USJの年間入場者数は平成28年に1,400万人に達し、令和3年3月に新エリア（スーパー・ニンテンドー・ワールド™）が開業し、今後も更なる集客が期待される。
- 安治川の対岸の天保山エリアには、世界最大級の海遊館（令和元年には、約250万人を集客）が立地している。



ユニバーサルシティ駅周辺エリア	
施設名	
ホテル	① ホテル近鉄 ユニバーサル・シティ
	② オリエンタルホテルユニバーサル・シティ
	③ ザ・パークフロントホテル
	④ ホテル京阪 ユニバーサル・タワー
	⑤ ザ・シンギュラリホテル&スカイSPA
商業施設	シティウォーク
水辺エリア (此花西部臨港緑地エリア)	
施設名	
ホテル	⑥ ホテルユニバーサルポートヴィータ
	⑦ ホテルユニバーサルポート
	⑧ ラ・ジェント・ホテル大阪ベイ
	⑨ リーベルホテル
商業施設	⑩ 新規開発予定ホテル (商業施設を含む)
	⑪ Zepp大阪ベイサイド (ホール)



## II. エリアの概要

### 3. 臨海部と大阪市内を結ぶ舟運ネットワーク拠点としてのポテンシャルを有する

- 臨海部（港湾）と大阪都心部（河川）の舟運の結節点に位置する。
- 現在、ユニバーサル・シティ・ポートがあり、天保山との定期船（キャプテンライン）、都心部への不定期船などが運航中
- 夢洲での万博開催、そして統合型リゾート（IR）を含む国際観光拠点の形成に向けたまちづくりが実現すれば、舟運事業の活性化が想定される。



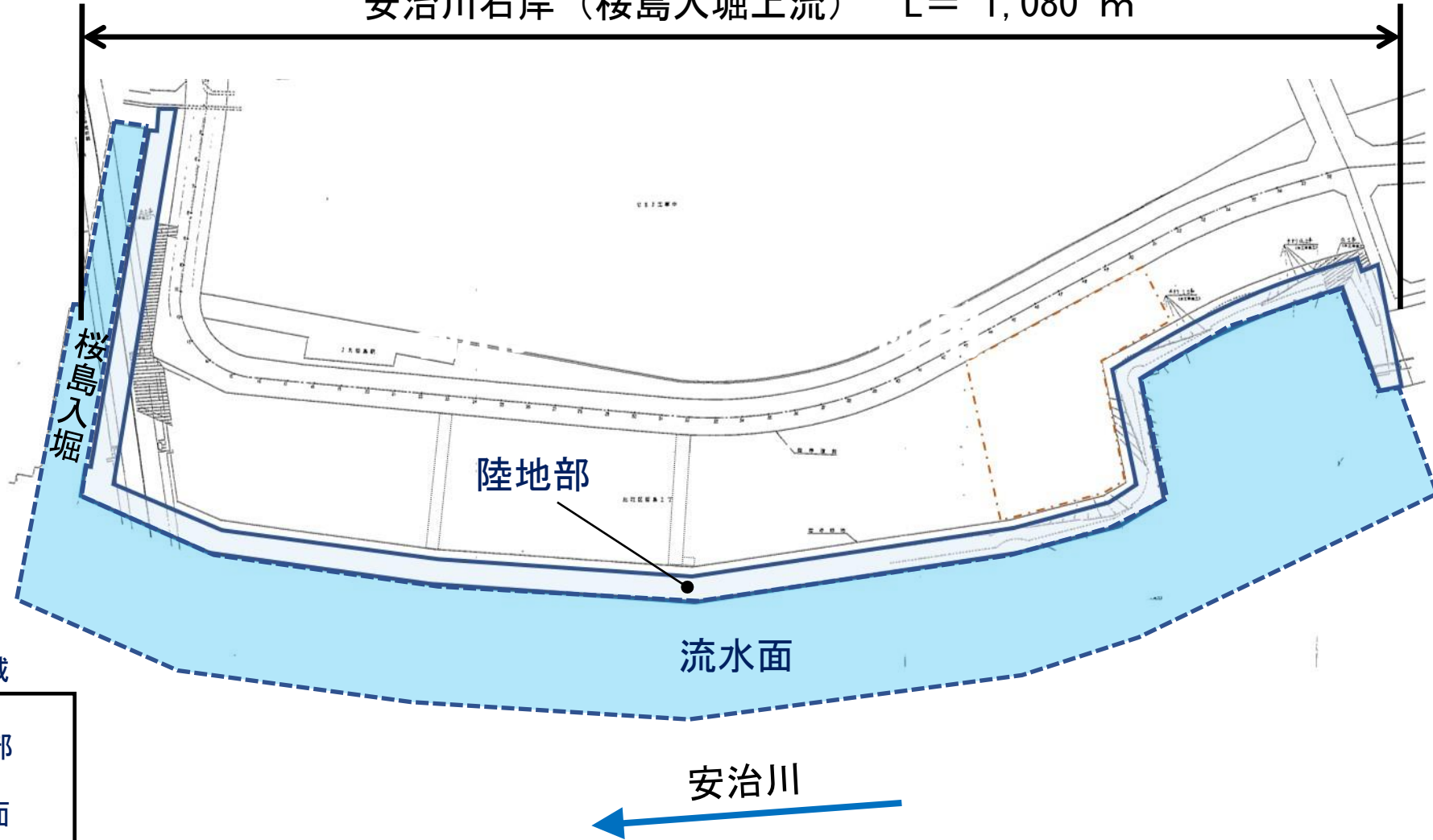
凡例

- ↔ : 供用航路
- ⋯ : 予定航路

## Ⅱ. エリアの概要 (都市・地域再生等利用区域指定の要望範囲)



安治川右岸 (桜島入堀上流) L = 1,080 m



凡例 占用対象区域

-  : 陸地部
-  : 流水面



# Ⅲ. エリアの位置づけ

## ①「此花西部臨海地区地区計画」(大阪市 H18.9)

### 【地区計画の目標】

- ・ USJを核としながら、アーバンリゾート機能の導入を図るなどにぎわいの創出を図る。

### 【土地利用に関する基本方針(D地区)】

- ・ 魅力あるウォーターフロントを活用して、ホテルやフェスティバルマーケットをはじめとする商業施設、輸入商品等を中心とした商業施設、映像を活用した娯楽文化施設、親水施設等の整備を図る。

## ②「淀川水系西大阪ブロック河川整備計画」 (大阪府、大阪市 R2.3)

### 【河川空間の利活用】

- ・ 河川環境の整備と保全に伴う河川空間の利活用については、民間事業者等のニーズに応じて、官民が協議のうえ事業エリアを設定し、両者の適正な役割分担の下に必要な整備を実施します。
- ・ 安治川筋は、水都大阪の中心である中之島エリアと2025年に開催が決定した大阪・関西万博の会場である夢洲を含むベイエリアとを結ぶ主要な舟運ルートとなり、今後、周辺部でさらなる舟運の活性化が予想され、眺望景観及び夜間景観の魅力を高める取り組みが求められています。

## ③「大阪港港湾計画(改訂)」(大阪市港湾局 H31.3)

### 【基本方針】

交流：魅力的な観光・集客拠点の形成と臨海部の活性化

- ・ 地域の特性を活かした再開発や民間活力導入等により臨海部の活性化を図り、身近で市民に親しまれるベイエリアの形成を図る。
- ・ 此花地区については、親水緑地や、旅客船埠頭、集客・交流施設が連携し、様々な人々が訪れる交流拠点ゾーンとする。

## ④「大阪“みなと”ビジョン」(大阪港湾局 R2.11)

### 【具体的な取組み】ヒトの交流により賑わう

海上交通による交流機能の充実

- ・ 関西国際空港や神戸空港などの大阪湾内の拠点を結ぶネットワーク、また、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)、海遊館などの近傍の集客施設や水都大阪(水の回廊)、淀川舟運と連携したネットワーク、大阪湾と瀬戸内・西日本を結ぶネットワークなどの海上交通による交流機能の充実をめざしていきます。

みなと・海岸のにぎわい創出

- ・ 沿岸市町、企業等と連携した港湾緑地の活用、また、みなと・海岸特有のロケーションや景観等を活かしたにぎわい・魅力創出に取り組みます。